



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

令和3年度森林・林業技術交流発表会に参加しました

当発表会は毎年度東北森林管理局で行われているのですが、新型コロナウイルス感染対策のため昨年度に引き続きパソコンを使ったリモート形式での開催となりました。今年度は私がセンターを代表し、これまでの「中・大型哺乳類調査」の結果と考察について発表しました。発表の概要としては、白神山地にはカモシカやツキノワグマを始めとする様々な哺乳類や鳥類が生息しており豊かな生態系が存在していることをこの調査で確認することができました。しかし、ニホンジカやハクビシンを始めとする、白神山地の生態系を脅かす哺乳類が年々増加していることも調査で判明しました。

今回の発表では受賞するまでには至りませんでした。これからも調査を継続して実施しニホンジカ等の生息状況を把握して捕獲等の対策に繋げ、白神山地の生態系の保全に貢献していきます。(木村)

東北森林管理局のホームページ上で「森林・林業技術交流発表会」で発表内容を動画(YouTube)でご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

*東北森林管理局ホームページ < 森林への招待 < 技術情報 < 森林・林業技術交流発表会 < 令和3年度の【令和3年度森林・林業技術交流発表会(発表動画)】 < 番号 22番 白神山地世界遺産地域における中・大型哺乳類調査について」でご覧いただけます。

画面越しとはいえ、
初めてで緊張しました。



発表の様子

牛糞でニホンジカ誘因作戦！

1月発行の「白神の絆」(NO.185)において、白神山地の生態系に影響を及ぼす可能性が危惧されるニホンジカの対策のため、冬期間中も、当センターでは自動撮影カメラを設置してニホンジカの越冬場所把握などの活動をしていることを記載しました。

今回は、さらに対策を進めるため、積極的にニホンジカをおびき寄せる牛糞を試験的に実施しました(捕獲を目的とする)。

作業は、東北森林管理局職員、津軽森林管理署職員、当センター職員により実施しましたが、今回は地元・深浦町役場にも、町営牧場からの牛糞の提供と、現地までの運搬の協力をいただきました。改めてお礼を申し上げます。

まず、牛糞設置場所は、過去にニホンジカの痕跡・目撃があり、さらに作業上の利便性から林道に近い場所を選びました。

次に、設置場所の積雪を手作業で除去し、牛糞を設置。それが流れ出していないよう、谷側に簡易な柵も設置しました。牛糞の山は、比較のため湿潤した山と乾燥した山とを設けました。

仕上げに、牛糞に向けて自動撮影カメラを設置し、牛糞に誘因される（糞汁を嘗めにくる）ニホンジカを待つこととします。なお、今回の試験地を設けるきっかけとなった長野県での事例で、ニホンジカが牛糞から染み出す糞汁を嘗めるのは、そこに含まれる塩分やミネラル分を求めてのことではないかという考察があります。

この手法によりニホンジカの誘因が確認されれば、次はそれを足がかりに、効率的なニホンジカ捕獲対策を検討していくこととなります。

今回の牛糞の試験的設置作業が、白神山地とその周辺地域の森林生態系を保全するためのさらなる一歩となる、そう願いながら作業に汗を流しました。（赤澤）



牛糞が流れないように策で対策



現地に牛糞を設置



牛糞へ向けてカメラを設置



完 成